

第5回京都府流域下水道事業経営審議会（開催結果）

1 日 時 令和7年3月28日（金） 午後2時～午後4時

2 場 所 京都ガーデンパレス 「葵の間」
対面及び Zoom による Web 会議併用

3 出席者 委員16名中14名（対面参加8名、Web参加6名）
京都府 石井建設交通部長、西村建設交通部技監、
曾和公営企業管理監、西崎公営企業経営課長、
工藤下水道政策課長、吉本流域下水道事務所長、
高橋下水道政策課参事 他

4 結果概要

- (1) 田中委員と西垣委員をそれぞれ会長・副会長に選出
- (2) 部会委員を選出
- (3) 各部会での審議結果を報告
 - 資本金の額の減少について〔財政部会〕
 - いろは呑龍トンネル事業の再評価について〔投資部会〕
 - 宇治田原町公共下水道の流域下水道への編入について〔投資部会〕
 - 投資計画の見直しについて〔投資部会〕
 - 流域関連市町の排水量確定に係る流量測定について〔調査部会〕
- (4) 京都府知事から「京都府流域下水道事業経営戦略」の中間見直しを諮問し、経営審議会でも今後議論していくことを了承

5 主な意見等

- 資本金の額の減少については、市町に対して追加的な負担を求めないことを明確にすることや経営の透明性を高めるためにも意義がある。
- いろは呑龍トンネル事業の再評価については、事業を進める中で接続施設の位置の変更等により計画の変更が必要となったが、高い事業効果が見込まれることから投資部会として同意した。

- 宇治田原町公共下水道の流域下水道への編入については、当事者である宇治田原町と城陽市だけでなく、他の流域構成市町においても経済的なメリットがあることが確認され、また、環境負荷の低減等の効果も見込まれることから投資部会として同意した。
- 流域関連市町の排水量確定に係る流量測定については、長期的にみて流量の測定誤差にほとんど偏りがないことが確認された。この結果を受けて、流量計測情報の提供頻度を増やすことや、より高精度な流量計の導入を検討いただいている。
- 能登半島地震や八潮市の大規模な道路陥没事故を受けて、上下水道の耐震化や老朽化対策を進めていく気運が全国的に高まっており、経営戦略見直しの中でも盛り込まれると思う。一方で、対策に必要な費用は下水道使用料に反映させることになるので、投資的な面と財政的な面のバランスを考慮した経営戦略の見直しを行う必要がある。
- 老朽化対策や財政面などだけでなく、世の中の変化で求められる他分野の内容なども盛り込んだ経営戦略に見直す必要があるので、投資部会や財政部会で議論していきたい。

以上